

【CL名】 野口さん 【解答者】 アオちゃん 【作成日】 2023年9月30日 【作成時間】 45分

設問

【問い1】 今ならどのような質問ができるか。

「私の仕事は別の人が担当していて、と仰いましたが、それはどういったことなのでしょうが？」  
「引き続きをがんばってや」と仰いましたが、どのようなところをがんばられたのですか？  
「上司本人にはもちろん言えない」と仰いましたが、差し支えなければどうして言えないのでしょうか？  
「つながりたいな仕事」と仰いましたが、つながりたいな仕事とはどういうことでしょうか？  
「これまでの仕事に戻りたい」と仰いましたが、そう思われたのはどうしてでしょうか？  
「私じゃなくてもいいんじゃないかな」と仰いましたが、差し支えなければどうしてそう思われたのですか？

【問い2】 良かった点と悪かった点 (各2行)

事例ⅠのCCt8 (相応しい・相応しくない)

理由: 育児休暇前にされていた交渉を伴うお仕事の楽しさ、今の集計作業がつまらないと感じる思いなど、仕事観を聞かせていただき、信頼関係が構築できつつある点。

事例ⅡのCCt9 (相応しい・相応しくない)

理由: 育児休暇前の上司とのやり取りやそのときの気持ちに繰り返し焦点を当てしまい、別の人が相談者の以前の仕事を担当していることに焦点を当てる時間が足りなかった点。

【問い3】 クライアントの主訴

育児休暇に入る前に、上司がこれまでの仕事に戻ると約束けにも関わらず、復職後は雑用のようなデータ集計の仕事をやらされていてつまらない。やる気になさそうな後輩を気にかけて、後輩が引き続きの仕事を引き継ぎ、仕事を前向きに取り組んでもらえば、とがんばって引き続きをした。後輩が楽しそうに働いているのを見ると、うれしく思うが、自分が以前の楽しかった仕事に就けないと思つて複雑な気持ちである。上司にだまされたと感じつつも、上司本人には言えない。

【問い4】 今後の展開 (どのように進めるか)

育児休暇から復職され、こんなはずじゃなかったと思われている相談者に寄り添い、引き続き信頼関係を構築する。今抱えている理不尽な気持ちやだまされたという気持ちを傾聴し、内省を促すことで気持ちを整理していく。その上で、相談者がやりたい仕事や上司、後輩への思いについて、上司に伝える面談機会を提案する。また、今担当しているデータ集計の仕事の意義や経営方針の提案へのつながりを考えてもらい、仕事理解を深めていただく。これにより、相談者が復職後も前向きに仕事に取り組めるように支援したい。